

ニンカン・ネット通信

ニンカン・ネット
Vol. 5
2005.11.25

【発行】ニンカン・ネット 〒466-0833 名古屋市昭和区隼人町19 南山短期大学内 Fax (052)836-6543 (南翔会事務局)

卒業して何年も経ちました。
色々な荷物しょって疲れてませんか？



Illustrated by 天国屋うらん (16期 櫛田康代)

ニンカン・ネットのドアはいつも開いてます。
これまでの自分、これからの自分…先輩後輩がまっています。

ニンカン・ネット ホームページ <http://www.ninkan-net.jp/>

ニンカン・ネット企画 ミニ講座

「叡智と出会い ～ものを知る実習～」



【講 師】グラバア 俊子先生
生きていくということは、一瞬一瞬ものと出会い、人と出会い、それが織り成す出来事と出会い、それを知っていくということの積み重ねです。人間には出会ったものや人を知る手だけで五感（視覚、聴覚、味覚、触覚、嗅覚）が備わっています。五感とは、今ここで出会っている現実からデータを引き出す力であり、人によって五感の使い方にはかたよりがあります。今、私たちのおかれている感覚の状況は、視覚と聴覚が突出していてその他は置き去りにされていることもあります。たとえば、プチトマトが目の前にある時、目で見てそれが何であるかがわかれれば知ったつもりになります。しかし大切なのは、おいしいかどうか、新鮮でビタミンが多く含まれ、私たちの体を養ってくれるかどうかであり、中身を知る事です。人の出会いの場合も、相手の名前や肩書きを知るだけでなく、その人が楽しそうであるとか、悲しそうであるとか、生き生きしているとか、話し



「聴き方、話し方のトレーニング」

【講 師】星野 欣生先生

私達は人の話を聞いてあげたり、話をしたりして、コミュニケーションをしていますがなかなかそれがうまくいくとは限りません。ではどうしたらよいでしょうか？

日本語には2つの「聞く」があります。相手中心の「聞く」とたずねる側中心の「聞く」です。相手の気持ちを無視してたずねる側の関心だけで聞くと、相手からの答えは「はい」か「いいえ」しかなく関係も深くありません。（クロースト・クエッショングといいます）

相手側の関心に心を傾けて聴いていると話がどんどんひろがっていきます。相手も自分の言いたい事を話しているのでこちらは質問も考えなくてもよいし、自分の言いたい事が言えるように助け舟をだしてあげたり、うなづいてあげたりすればよいのです。（オープンクエッショングといいます）

次は話すことです。話すというのは、自分が伝えたい事を、誤解が起こらないように、相手にわかる言葉で、できるだ

次回「ミニ講座」を2006年2月、5月、9月に予定しています。10P掲示板「ニンカン・ネット企画ミニ講座情報」をごらん下さい。

2005年5月21日(土)・9月10日(土)

南山短大11番教室において先生方に講義と実習をしていただきました。

内容をまとめましたのでご紹介します。

ていても上の空であるとか、五感を使って感じた事を大切にしなければ人間関係は結びにくくなります。また、たとえ同じ時間を共有しても、人それぞれが五感のうちどの感覚をより使うかにより一人一人が違う体験をしています。このことを認識することで、相手を理解しようとする気持ちが生まれ、よりよい人間関係が出来上がります。

知情報ばかりを信頼する教育がなされ、現在はあまり五感を使わない傾向がありますが、日常生活の中で五感を取り戻す、特に普段あまり使っていない感覚を使う努力をするということは、簡単で実行しやすく、自己成長に大きな効果があります。



実習：全員が目を閉じ、先生から「もの」を受け取り、目を閉じたままその「もの」とよく知り合う。十分知り合ったら「もの」をテーブルの下に置き、目を開けてクレパスでその「もの」の絵を描き、ペアで分かち合う。受け取った「もの」は実は全員同じ（さて何だったでしょう）。人によって触れるだけでなく、においをかいだり、かじったり、全部食べたり、重さを比べたりとさまざまな知り方があった。

春

具体的に表現するということです。そして一番大事なのは相手を観るということです。人は話をしている時に体からいろいろなサインを出しています。相手にとっては話したくない事柄や本心が言えないでいるのかもしれません。自分の話し方が相手にどのような影響を与えているのかにも注意をする必要があります。

相手が安心して話せて、言いたい事をきちんと聞いてあげる環境をつくることが大切なことです。よく聴いてもらえると信頼関係が生まれ、相手に関わっていくことになり、仲間意識もできます。



実習：①「親子の会話」　聞き手中心の会話と相手中心の会話をよんで、自分はどちらのやりとりをしているか、感じた事を言う。

②「コミュニケーションの実習」　3人組みをつくり A（聞く）・B（話す）・C（観る）の役割分担をして、与えられたテーマについて話す。ふりかえり用紙と観察メモに書く。自分のとった役割をもとに、C-B-Aの順番に学んだ事、気付いた事、感じた事をわかちあう。

「人間で学んだことをどう生かせるか？」

【講 師】伊藤 雅子先生

今日、女性は子育てを終えた後の40歳代から70歳半ばまでをどのように使うかが大切だと思います。女性には仕事と子育てとの二つの役割がありますが、子育てをしている間も自分の勉強を怠らないで下さい。私の時代は家庭か仕事か2つに1つを選ぶことが一般的でした。しかし、私の場合、幸いなことに同居していた夫の母が協力的で、働くことを推してくれました。また、夫や子供もそれなりに手伝ってくれましたので、恵まれていたと思います。もちろん、私なりにちょっと頑張った時期もありました。今の時代は、夫や男性が私の時代とは比較にならないくらい家事分担に協力的だと思います。

今、私達の置かれている周囲の状況を見ると、少子高齢化・高学歴化・男女協働・生涯学習・IT化のような科学技術の進歩やそれによる人間関係の変化など目まぐるしく、その中で、どのように生き、南短の人間で得たものを有効に生かした生活を送るために絶えざる努力が必要になると思



います。私が人間で仕事をしながら得たものは多くあります。特に、私の10代は戦争中で「泣くな」という教育をされて、涙が出ない人間になっていたと思いますが、40代で人間に関わり共感的理解をすることの大切さを学びました。人間は私を育ててくれました。今、これからを生きる皆さん方や私が大切だと思うのは、「私は～～をしなければならない」から、「私は～～をしたい」の人になることだと思います。「どうなりたいか」を持つ自分、そして「お互いの助け合い」

「お互いの聴きあい」など「できる事をできる時に」心がけて試み、少し頑張ってみましょう。



実習：縦軸に年代・横軸にその年代の主な出来事とその出来事で思い出した人間で学んだことを好きな色を使ってライフステージ表を作成した後、3~4人のグループに分かれて各自のライフステージをベースに「それぞれが人間で学んだ事をどのように生かせるか」を分かち合った。

秋

「グループとどうつきあったらいいでしょうか？」

【講 師】星野 欣生先生

ひとり一人が充分生かされていることが実感できるグループというのを、人間生の皆さんはTグループなどで体験されたと思いますが、グループには「生み出す力」と「癒す力」があります。信頼できる仲間やグループを持てれば、自分を支えられていることを実感でき、不安や葛藤に立ち向かっていく勇気を与えてくれ、「 $1+1=3\sim 4$ 」というような「生み出す力」がでてきます。また、「家族の中にいるとホッとする」とか、「このグループにいると気分がよい」というような「癒す力」が生まれてくるもので、そのような何でも相談でき、ホッとできるグループがあればよいと思います。このように「グループ」と「個」は相互に影響を与えるながら変化成長していきます。

家族・PTA・地域・組織…などのグループで皆さんはどういう関わり方をしていますか。

何となくそのグループに居るだけではなく、ちょっと意識してグループの様子をみ、上手にフィードバックすることで、グループが変わってきます。次の5つの項目に注目しグループをみることをお薦めします。

① オープンなコミュニケーション主張よりも傾聴ー：お互い言いたいことが伝えられているかに注目し、よくしゃべる傾向の人や他の人に影響を与えやすいと思う人は、自分が言う前にまず相手に耳を傾ける。

②リーダーシップはみんなのもの：発言の多い少ないにか



かわらず、その人の言動がグループに影響を与えることができた時、リーダーシップが發揮されることになる。

③自由で豊かな感情表現：笑いが出る雰囲気はもちろん、それ以外の様々な感情も豊かにお互いに言い合え、受け入れができる雰囲気かどうか。

④目標の明確化と共有化：何をしようとしているのか、メンバー全員に共有化され理解されているか。

⑤雰囲気—目標との関連でー：グループの雰囲気が、その目標達成にどう影響を与えていているか。

このようなことを意識しながら、メンバーに返していく（フィードバック！）ことが必要です。良い悪いの評価はしないで「でもちょっと気になったんだけど…」と言ってみましょう。その時にその場で起こったことを具体的に取り上げて伝えてみることです。起こったこと、見えたことをフィードバックしながら、ひとり一人がグループにうまく参加できるように援助してあげる（ファシリテートする）そんなことができるといいですね。

実習：①「私の社会地図」○△など大小様々な図形が散りばめられたA4の紙にまず「私」を決め、生まれてから今までで思い出す集団や組織を思いつくままクレヨンなどで描いてみる。どんな影響を受けたのかその変化も色や線で描いてみる。6人グループで、描いたものを紹介した。

②問題解決実習「おもしろ村」「犬を買っている人は桃を栽培しています」などの情報紙に書かれたバラバラな情報を個々が自頭で伝え、グループで話し合いながら問題を解決する。その後、ふりかえりとわからあいでお互いにグループ内の行動についての気づきを深めた。

◆ 講座参加者から感想をいたしました ◆

第2回ミニ講座**グラバア先生講座に参加して**

正直「私の苦手な事をやらされたらいやだな。」などと勝手に思いを巡らせていきましたが、日常生活ではなかなか体験しない実習を、すんなり受け入れることができました。

私はミニトマトに触ったとき、巨峰やマスカットのイメージがぱっと頭に浮かんで、そのイメージから離れられず、臭いをかいだり舐めたりして何か違うなと思っても、考えを修正することができませんでした。

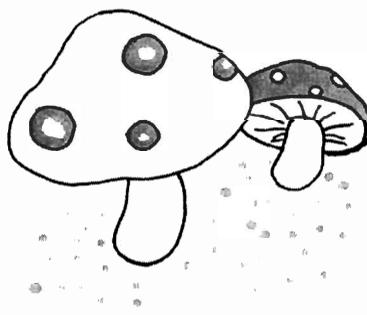
「一つの事にとらわれてしまってそこから抜け出せない自分」というのは、私の普段からの考え方や行動とも密接に結び付いています。こだわりやとらわれ・思いこみなどに左右されず、もっと柔軟に考え方行動したい、と気付かれました。

5期 浅野 さかえ

子供のこと、家の事に追われてニンカンに関わる余裕がなかったここ最近でしたが、お誘いFAXにあった「グラ・バ・ア」の4文字の魅力に抗えず、参加の返事をつい出してしまいました。昔取った杵柄、この実習は五感をフルに使って確かめればいいことは知っていて、取り組み方はばっちりだったと思います。（結果ははずればかりだったのですが）

実習後の講義で、五感をしっかり使って、ものや人、出来事を知るようすれば生きやすくなるという話を聞いて、なんだ私昔そういうことを学んでいたんだ、できるんだから今の生活に生かさなきゃ、と気づきました。参加して良かったです。

12期 関戸 明希子

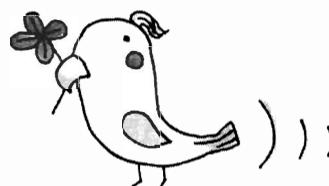
**第2回ミニ講座****星野先生講座に参加して**

「親子の会話」の中で起こっている事から始まり、私にとっては現在進行形の関心事であり、親子ほど違う卒業生から子どもの立場としての意見も聞けて、とても参考になりました。

ただ親の必要な事を「聞く」だけでなく、子どもの話したいことを「聴く」事の難しさを感じました。とかく子どもに接する私達は心配の余り、支配的、詰問的になりがちですが、子どもの話を黙って聴いてやるだけでも良く、後は子どもの判断に任せることも必要らしい。

星野先生が「今日はリラックスして話ができた。」とおっしゃっていた通り、講座を受けた私達もリラックスできました。

1期 加藤 直子



社会人7年目。ソーシャルワーカーとして働く私にとって、今回のトレーニングは、自分の仕事を振り返る機会となりました。これまでに、数え切れない程の「困り事を抱えた相談者」の話を聞いてきました。私はカウンセラーではなく、具体的に援助方針を示す役目もあって、「聞く（訊く）」ことに重点を置いていたように思います。話の中で先生が「対人職は信頼関係を築く上で“聞く”ということを意識的に行う必要がある。」とおっしゃられたことが、ズバッと胸を打ちました。その通りだと強く思う私がいました。次の出勤から、いつもなら自分のペースで“聞く”場面も、ぐっとこらえて“聞く”姿勢に意識的に転じるというトレーニングを開始しました。これがなかなか手応えがあっておもしろいのです。この気づきは私にとって財産となるでしょう。

23期 小境 ひとみ

第3回ミニ講座**伊藤先生講座に参加して**

人関といえば、「画用紙」だったのですね。まず画用紙を、20代・30代…と仕切り、それぞれの出来事、印象について思い思いに色分けしました。その後、グループになっての分かち合いが持たれました。伊藤先生は私達のグループに参加して下さって、「聴く大切さ」についてお話し下さいました。

50代・60代以降のヴィジョンが持てない私に、先生ご自身の人生についても語って下さり、私は肩の荷が下りてふっと楽になった気がしました。「50代・60代をバラ色にそめてくださいね。」という先生のお言葉を胸に歩んでいくうと思います。他のメンバーの方も、それぞれの人生に対しての思いを語って下さいました。こんな風に分かち合えるのは人間ならでは、ですね。世代を超えて、同じ人間の卒業生の中に流れている共通の感性を感じました。とても有意義な時間を過ごさせていただきました。先生方、スタッフの皆様、卒業生の皆様ありがとうございました。

12期 福島 智子

第3回ミニ講座**星野先生講座に参加して**

実習ではグループでわいわいがやがや。問題解決した時は「やったー！！」という感じでした。その後のふりかえりでは、さすが人関生、見ている視点が違うなと思いました。

私たちは日ごろ様々なグループに関わっていますが、居心地の悪いグループもあれば、その中にいると何か癒され自分を生かしていくけるグループもあります。ひとりひとりが成長できるグループになるように講座で体験したことと日常のグループの中でも活かしていきたいと思いました。

私たちの年代は学生時代とは違った問題にぶつかり悩んだりします。そんな時ミニ講座はお薦めです。何か解決するヒントがみつかるかも。人関生や先生方に会うとほっとするし、忘れていた何かも思い出します。次のミニ講座はどんなテーマかな？楽しみにしています。

5期 横原 葉子



こんにちは、この度『ニンカン・ネット』のHPリニューアルに関らせて頂きました16期のタクちゃんです。ニンカン卒業生としては異色の(?)、デザイナーという職業になって企業勤めからフリーの今まで合わせて早16年。一般事務職でデザイナー工業に入社したものの、ご縁有って子供の頃から大好きだった絵(デザイン)の仕事に関させてもらい、それでご飯を食べれるようになったことを今ではとても感謝しています。

当時は嬉しいというより、コンプレックスの方が何倍も強かったです。なんせ学歴も経験もゼロ。でも今にして思うとそれが良かったのかもしれません。おごりや高ぶりを持つ土

台がないですから、あるいは「がむしゃら精神」のみ。それはフリーになってからもっと強くなりましたよ。とにかくお客様に喜んでいただけるものを作らせて頂く、ほんとその気持ちだけで進んできました。

モノを作ると言うのは依頼から納品までコミュニケーションが欠かせない仕事。凹んだ時はいつも「相手の背中見て話し掛けていなかったなー」と話し掛けの授業のことを思い出します。ニンカン関係の依頼を節目節目で頂き、忘れかけた頃にニンカン的?ふりかえりが出来たこともかなりの救いになっていたと感謝しています。

ITの時代になり、ドッグイヤー

(7倍速)、はてはマウスイヤー(18倍速)なんて言われる今日この頃。一生懸命が時に暴走に近くなることもあります、「君はマグロのようだ。止まつたら死んでしまう」と言われる私ですが、最近少しづつ「減速して泳ぐマグロ」を目指すようになってきたのが大きな変化ですね。止まるのではなく、進みながらも「ふりかかる」んです。なかなか理解して貰えませんが、皆さんなら理解してもらえるでしょうか?誰かのように、ではなく今の自分の姿を時々確認しながら、これからも一生懸命でいきたいと思っています。ニンカン・ネットサイトの上でまたお会いしましょう!

16期 櫛田 康代さん

グラフィックデザイナー
ウェブデザイナー
イラストレーター



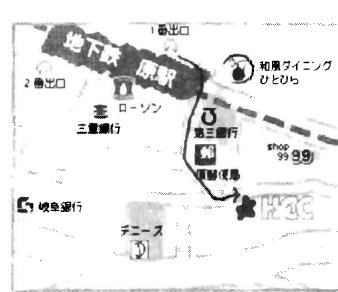
2005年春、天白区原にヒューマンコラボレーションセンター(HCC)をオープンしました。

人間が集える“お店”を持ちたいという夢を一步近づけた小さなスペースです。

オープンから今までの間に、つんづんこと津村と関りのある人達が集まりオープニングパーティーが何度も開かれたり、卒業生が企画しファシリテーターとして人間関係講座を開催したり、10月には26期生の同窓会会場として使ってもらいました。また、フリースペースとして書画の個展が開かれたり、現在は、荒木孝司氏の写真の展示とともに、星野先生の社会人対象の「人間関係づくりトレーニング講座」をシリーズで開講しています。hcc2005.jpというドメインもとり、WEB <<http://www.hcc2005.jp/>>で情報発信しています。ぜひご覧いただき、ご参加ください。

HCCは人間関係をはじめとして、心理人間学科の津村ゼミ生とその卒業生、教育ファシリテーション専攻の大学院生等の“コラボレーション”の場やラボラトリーライド学習の拠点の一つになっていくことを願っています。

でもやっぱり一番の楽しみは人間卒業生と一緒に飲みながら過去・現在・未来を語り合う空間になることです。ぜひ、HCCにお越しください!



OGや先生からの おたより紹介

1期 スモタンまま

六月の同期会でニンカン・ネットにお説いていた、メリットさんとの報告もあり、どれどれと扉を叩いた次第です。七月中旬、株式会社「穏和の園」を訪問しました。物忘れは進んでいて、話される言葉が英語になってしまっています。英語で日々の会話が出来る人がいたらしいねと皆で話しながら、静かに時を刻んでいる姿を心に焼き付けて園をあとにしました。

2期 とも（田中）

この春、娘が東京に嫁ぎました。ちょっと肩の荷が降りた様な、ホッと安堵した気持ちと、少しの寂しさと・・・。家族って、微妙なバランスで、成り立っているんだなあ…と、3人の妹たちの日々の喧騒と、空き部屋になった長女の部屋を見て、つくづくと考える今日この頃です。

3期 由美

早速、きちゃいました（^ー^）。いろいろ盛りだくさんのコンテンツ・・・素敵!!私は、南翔会の常任理事をしています。現在8名の常任理事の内、半数が人間の卒業生です。今後とも南翔会ともどもよろしくお願いします。また遊びに来ます♪

4期 あけみちゃん・T

今年めでたく（？）銀婚式を迎えて主人と二人まあ仲良く暮らしています。子供たちも手が離れ二人で映画に行ったり、ジムで体を鍛えたり山に登ったりしています。子育てを終て新しいシーズンがやって来たという気分です。

5期 自分の道を模索中の私♪

一年前から、幼稚園受付で働いています。子どもは苦手だったはずの私も、今では可愛い孫を見る心境?私の子どもは、現在24才と20才。幼い頃は、自分の思い通りの子どもに育てようとしたりしましたが、子どもはいつの間にか自分らしく生きる道をちゃんとみつけ、自分の足で歩き出すものだとしみじみ感じるこの頃です。

6期まい

私はまあまあ元気です。少し元気じゃないとこもある、ということです。大抵は日々の忙しさに紛れてあまり深く考えることもなく、でも胸の内にもやもやと抱えているいろんな想いが、いつの間にか自分の元気をなくさせているのかも、と最近考えています。少し自分の内なる声に耳を傾けてもやもやをはらして、いきたいな、何て思う今日この頃です。

7期 マキ

12歳の息子、4歳の娘と夫の4人で浜松に暮らしています。以前は魂に最も近い遊びとして詩を書いていたのですが、5年前を最後にペンを休めております。そんな折、1年ほど前に出会ったのがフラワーアレンジメントです。いつかまた詩も書ける日が来るといいとは思いつつ、今は来春のフラワーアレンジ3級試験に向けて修業中です。(写真:右下)

8期 おかこ

夫と小6の子どもの3人で春日井に住んでいます。最近、年のせいか少々疲れ気味。仕事と家事だけで毎日があつという間に過ぎていきます。もう少し余裕ができたら何か新しいことにチャレンジしようと思っています。8期のみなさんは、何をしていますか?

9期 きくちゃん

人間を卒業してから何年経ったのでしょうか?なんと23年ですよ!みなさん人間での2年間覚えてますか?私の顔、思い出せますか?同窓会を一度も開くことなく、このままではみんなのこと忘れてしまいそうです。せめて人間ネット上でおしゃべりしましょう。

10期 ふーちゃん

同期の皆さんお元気ですか?きっと何人かの仲良しさんどうしては時々会っていたりしても、その他の人の近況は分からぬですね~これを読んだ同期の皆さん、よかつたら近況など教えてください。そうしたらニンカン・ネットにアクセスするのが楽しみになりますもんね。

HPに寄せられた卒業生や先生からのお便り紹介のコーナーです。

同期だったあの人は今どうしているでしょうか?元気な人も、悩んでいる人も、HPにおたよりください。いつでも待ってまーす。

(一部抜粋しています)

11期 みいちゃん

あちらこちらから各先生方の講座のお説明をしていただくのですが、予定がありたりして、足を運ぶことがなかなかできなくて・・・。少々サビついてきた頭をリフレッシュさせるのに必要を感じながら毎日を過ごしています。

12期 えっちゃん

子育ても何とか落ち着いています。今はコミュニケーションがうまくとれない職場の「人間関係」に引っかかっていて、人間での授業をとても懐かしく思い出しています。あのときに立ち返ってそこから新しい一步をふみだしていきたいと思っています。そのためにも、このHPを利用してコミュニケーションが広がることを願っています。同窓会しましょう!

13期 えみこ

それにつけても思い出すのは、東京在住時、子どもの体操教室で偶然再会した、同期の(旧姓)Eさんのことです。一目見ただけで、よくぞ私を思い出してくれたものです!あの時はとてもうれしかったです。お互い子どもが大きくなりましたね?

14期 京子

私は今でも聖霊病院にかかたり、ランチャでお茶したり、南短の周りを懐かしくウロチョロしています。6年生の娘があるので、お受験ママしています。彼女はお気楽なのですが、親の私の方が悩んだり心配したりカリカリしながら、送り迎えやお弁当つくりの毎日を送っています。あと半年、がんばりまーす。



7期 マキ

15期 AKI

何年か前の同期会には参加できず、なかなか皆さんに会えませんが、このニンカン・ネットのHP上ででもおしゃべりが出来たら楽しいなと思っています。私の近況報告…今夏は万博に2度ほど、高校野球観戦に甲子園へ、息子の少年野球キャンプの付き添い、毎週末の少年野球見学と、野外活動が多く、小麦色に焼けています。

16期 まりこ

私の近況ですが、ひたすら子育てに追われていた10年が過ぎようやく自分の時間を持つことができるようになりました。10歳の長女、7歳の次女、3歳の双子の長男次男の4人の子育ては大変なときもありますが、賑やかで楽しい我が家でもあります。皆さんの近況も是非教えてくださいね。

17期 みんみん

卒業してもう14年が経ちますが、よく同期の仲間と会ったりメールしているせいか年月を感じません。ニンカンの同期は人々に会っても、ブランクを感じるのが不思議であり魅力です。

18期 まき

私は今アメリカ西海岸のサンフランシスコ近郊に住んでいます。水辺の家なので、毎日たくさんの鳥が遊びに来てくれます。とても温かく、豊かな時間に感謝しながら暮らす日々です。何でもないような毎日を愛しく思ながら暮らしたいな。何かあってもうろたえないでいられる、しなやかさが欲しいです。

19期 さち

最近、私の周りでいつも違った多くのできごとが起こり、「なんだか私、試されているのかしら?」と思うほどです。身近な人が亡くなって、今、改めて私の「いきる」をふりかえる時期なのかと思います。人間でたどり着いた「いきる」とは変わっていることを明らかに感じています。少し前までは自分自身にむけた「いきる」だったけれど・・・。

20期 きぶちゃん

パワーアップ版HPに早速アクセスしてみました。素敵なHPと出会えましたことを心より感謝します。同期のメンバーとの再会の場、また期を越えてニンカンという輪(和?)で結ばれた者の出会いの場となることを願います。

21期 Megumi

メキシコに暮らして早2年。こちらの暮らしにすっかり慣れて、現地人化しています。仕事は、JANZU(水中セラピー)やREIKI, RAKKEN-HOU(足であるマッサージ)、瞑想の講座などを、スペイン語でやらせてもらっています。こっちの人達の人間関係は実に幅が利いて面白い。この人達に溶け込んで、一緒にやりたいこといっぱいの私です。

22期 keiko

現在、妊娠6ヶ月で、知る人ぞ知る妊婦さんが薪割りなどをする「吉村医院」へ通っています。先輩ママの皆さん、妊娠中にやっておくとよいことなど、アドバイスをください。

23期 まる

9年前、卒業文集みたいなものに“10年の私”というページがありました。そこには、「とっても優雅な一人暮らし」と書いた覚えがありますが、実際は「毎月赤字の4人暮らし」になっています。9月から、知人の全くいない豊川に住みます。豊川にお住まいの人間生、是非お便りください。

24期 かず

24期の皆は何をしているのかな~?結婚も育児もキャリアウーマンも色々いるお年頃です。是非近況を知りたいなと思います。私は現在某・法律系士業事務所に勤めています。やりがい十分で喜ぶこともあれば責任の重さにうちひしがれることもあり。。。ですが、ようやく好きな分野での経験を積んでいるので、日々頑張っています。

25期 桐ちゃん

「はじめまして&ニンカンネットWEB公開おめでとうございます!」25期のみんなは元気にしてるかなー?私は、ニンカン、体験学習との縁が続いている。私が勉強熱心だから?成長が遅いから?それとも、住んでいる場所が林中に近いから?遠くに住んでいる人とも、このネットでつながれたらうれしいです。では、また遊びにきますね!

26期 しづ

『集まれ!! 26期!!』
日時*10月8日 17:00~9日 13:00
~19:00
場所* 8日 ベタニヤ(宿泊)
9日 HCC
参加希望の方は佐久間しづまで連絡ください!みんなに会えるのを楽しみにします!

27期 あき

今まで書き込みはしたことなかったんですが、まっひーの西表の写真を見ていたら急にみんなと懐かしい話をしたくなりました。私も学生だった時と卒業してからの二回西表合宿に参加したからです。あれから沖縄には行ってないけれど、あの大自然は今でも私を受け入れてくれるのかしら。。。そんなことを考えながら書き込みしています。

つんつん(スタッフ)

「ニンカンネットWEB公開おめでとうございます!」

待望のニンカンネット独自のWEBの公開、やりましたね!お店のフレームができたので、中身の充実が求められ大変になってくると思います。しんどいこともたくさんあるでしょうが、がんばっていきましょう!

私も、今の自分を育てくれた人間生たちと、少しでもお役に立つことができればと考えています。何かお手伝いできることがありましたらご連絡をください。

まっひい(スタッフ)

「ニンカンネット頑張って!」

早速アクセスしてみました。なかなか暖かい感じでいいですね。ニンカン生のためのHPができて本当にうれしいです。時々書き込みをします。

毎年、グラバア先生方と卒業生の希望者10数人で西表の大自然を満喫しています。西表には26期・佐久間さんが生活しているので会ったりします。来年も実施すると思います。これまでロコモの募集でしたが、来年はニンカンネットで募集しますね。

**伊藤雅子(スタッフ)**

「私の会った人間卒業生」

メリットハンドベルチームは未だ健在です。時間の余裕のある方は是非お出かけください。練習は毎週土曜日の午後、南短2番教室でやっています。

24期・佐藤さんは盲導犬協会に勤務しておられます。9期・北沢さんはサンフランシスコ郊外に、15期・坪井(旧姓神谷)さんはブラジルにお住まいです。留学生イム・ヒョンチョンさんは結婚され、なんとマダガスカルに行っておられます。2001年にソウルでお会いしました。

おたよりの方法は次のページへ!



ホームページ活用 ~おたより編~



「インターネットはやったことがなくて…」という人も、これをきっかけに、ホームページをのぞいて見ませんか!? www.ninkan-net.jp/

メニュー

ニンカン・ネット ってなあに?

ニンカン・ネットの成り立ちと活動報告をご紹介

イベント・講演 のご案内

ミニ講座や同窓会などをいち早くお知らせします

みんなからの おたより募集中

このサイトに寄せられたおたよりを掲載しています。

OGや先生からの おたより紹介

このサイトを見たアナタ! 近況をドシドシお寄せください!

ニンカン・ネット スタッフ紹介

ニンカン・ネット運営委員をご紹介します

ようこそ について

今までに3回を数えた同窓会『ようこそ』について

ニンカン・ネット通信 バックナンバー

郵送でお送りしている『ニンカン・ネット通信』のバックナンバーです

ニンカン・ネット 運営委員会議事録

ニンカン・ネット運営委員会の議事録です

* 他にも住所変更、スタッフへの連絡、ホームページに関する要望・質問も受け付けています。

送って頂いたメールはここに載ります。(^O^)
コメント(返事のようなもの)も付けられます。



ここをクリックしてください。

説明が見られます。E-MAILをクリックすると、メール送信画面が出てきます。

〈必ず書いてほしい事〉

- ☆おたよりの題:(例)21番教室の主です
- ☆お名前(旧姓):(例)人関(南短)真猿
- ☆期:(例)11期 ← * 1~27期、スタッフです
- ☆ニックネーム:(例)もんきい
- ☆本文:(例)ぬいぐるみの猿です。本当に21番にいます。
たまには会いに来てください。

- * 携帯からでも送れます
- * 写真も大丈夫です
- * 「おたより」・コメントにはお名前
・アドレスは表示されません



準備ができたら

送信!

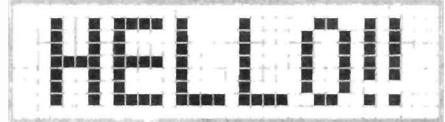
スタッフ(運営委員)に
メールが届きます。



担当スタッフは、自主講習会をして備えました。アップは当番制でやってます! たくさん来ると嬉しい悲鳴です。

*FAX、郵便でも受け付けます。「おたより」したいけど、メールはまだちょっと…という方はご利用ください。 FAX (052) 836-6543 (南翔会事務局)

ネットワーク紹介



「ニンカン・ネット」では、ネットワーク作りを進めています。今回のテーマは「このまちで暮らして」。みなさんは地域とどんな関わり方をしていますか？

新瀬戸のマンションに住んでいます。200世帯以上の住人が暮らす大マンションです。

今年順番で“自治会”的役がまわってきました。副会長に当たった人（クジで決めるのです）が多忙という事で「若林家」（夫婦二人でやっているので）が替わりに引受け、自治会の仕事をしています。町内対抗のバレーヤソフトボールの大会、大運動会や敬老会、防災台帳の作成、様々な寄付金募集などしながら地域の人達と関わっています。去年まで両隣くらいしか知らなかったマンションの人達も今は40家族以上とおつきあいしています。面倒と思っていたのも事実ですが、やってみると結構楽しくて住人達との“仲間意識”も芽生えています。会社の上司に「幹事はやらされているという意識ではなく、やらせてもらっているんだ。それで喜ばれればこんなに良いことはない」と言われ、素直にそう思い、労を惜します、自分にやれる範囲で地域の方とコミュニティを作っています。

瀬戸市 6期 若林 芳美

ニンカン・ネット奨学助成活動

「ニンカン・ネット」では、旧南山短期大学人間関係科の核となっている「体験学習」及びその応用を継続学習・研究・普及しようとする人間関係科卒業生を援助します。

《奨学コース》 講座受講料の50%（限度額5万円）、大学等への入学・編入費用のうち5万円を補助します。

◆申し込み受付期間 第6回（春期4月～8月） 2006年3月末受付締め切り

（春期・秋期の年二回）第7回（秋期9月～3月） 2006年8月末受付締め切り

《一般助成コース》 人間関係科卒業生を対象にした同期会一回につき1万円を補助します。

こちらの申請は随時受け付けています。

☆申し込み方法、選考方法など詳しくはお問い合わせください。またHPでも詳細をご覧になれます。

問い合わせ先 E-mail : jyosei@ninkan-net.jp

「ニンカン・ネット」奨学助成を受けられたみなさん

《奨学コース》

10期 水野 節子

南山大学大学院（教育ファシリテーション専攻）入学

進学にともない、仕事の規模を縮小する必要がありました。実際、進学してみると1日はアップという間に終わり、仕事に割ける時間はやはり少なくなりました。

進学したからには「何か」をつかみたい！助成金はそんな気持ちを力づけてくれる1つの要素です。ずっと仕事を第一に考えて生きてきましたが、今は自分にとって何が必要なのかを見極めながら、学んでいきたいと思います。助成金は書籍の購入などに充てていきます。

《一般助成コース》 1期卒業生のみなさん 同期会開催

5,6期卒業生のみなさん 合同期会開催

人 生一度は万博だ。そう言われても、今ひとつピンとこなかった愛知万博。でも、待てよ。地元で万博が行われるなんて、それこそ人生に二度と有り得ない事だ！と考え直し、万博会場ボランティアに登録をした。ボランティア研修に参加してみると、東海地方在住の老若男女がそれぞれ熱い志をもって集っており、地元愛知で世界各国からやって来る人達のおもてなしをしよう！と期待に満ちた笑顔で意気込んでいた。環境

の時代と言われる21世紀の最初の万博、愛・地球博。人と人が温かいつながりをもち、その土地その土地で自然と共に存し、



美しいハーモニーを奏でる。とある田舎町の小さなハーモニーが広く伝わって、地球上の平和へつながったらしいなど願いながら、愛・地球博に臨む次第である。

多治見市 英語科29期 樋口 久子

樋口さんは南山短期大学の職員です。職場でニンカン・ネット通信をご覧になり、投稿して下さいました。

12期 三輪 裕里子

青山心理臨床教育センター中級コース受講

実家に送られていた「ニンカン・ネット」を読み助成金のことを知りました。

援助職とは異なる分野で活動してきましたが、様々な人と関わる中で、心の問題が最も基本的で重要な物であることを身にしみて感じるようになり、心理臨床の勉強を始めました。アプローチの方法は心の問題の移り変わりと共に、変化し絶えず改善されています。

今後も、自分を生かし、人を生かせる道を探るべく、勉強を続けていきたいと思っています。

ニンカン・ネット 掲示板

◆ 第7回日本体験学習研究会全国大会 ◆

体験学習に関するワークショップ・ラウンドテーブル・様々な実践報告などがあります。皆さんのが参加をお待ちしています。

日 時：2005年12月3日(土)・4日(日) 午前9:00～
会 場：南山大学D棟
参加費：3000円(両日) 2000円(1日のみ)
問い合わせ：電話(052)832-3111 内線973
南山大学人文学部心理人間学科津村研究室
ホームページ：<http://www.nanzan-u.ac.jp/~tsumura/nittaiken/>

◆ コンサート情報 ◆

南山短大のOGによるハンドベルコンサートのご案内です。卒業後も活動を続けている仲間たちのベルの音色を是非お聴きください。

◇ メリット・ベル・リンガーズ ◇
2005年12月4日(日)「南山教会チャリティーコンサート」午後2時～
2005年12月11日(日)「愛知聖ルカ教会クリスマスコンサート」午後3時～
2005年12月24日(土)「名古屋観光ホテルクリスマスコンサート(1階チャペル)
1回目：午後6時～ 2回目：午後7時30分～
問い合わせ：人間21期 足立有美 E-mail:yumi.a-0326@ezweb.ne.jp

◆ 講座情報 ◆

社会人向けの講座を随時開催しています。詳細についてはそれぞれお問い合わせください。

◇ ニンカン・ネット企画ミニ講座 ◇
【日時】2006年2月25日(土)
①「川浦先生 ミニ講座」
(講師)川浦 佐知子先生 ～ゲシュタルトアプローチより～
②「Seeds ミニ講座」
(講師)グループファシリテーターの会Seeds 代表 杉山 郁子さん
①、②共に参加費は500円、募集人数は先着30人、南山短期大学卒業生に限ります。
詳しくは、決まり次第ホームページに掲載します。

◇ H.C.C. ◇
講座情報はこちらをごらん下さい。
ホームページ：<http://www.hcc2005.jp/>

◇ 南山大学人間関係研究センター ◇
『Tグループin清里／社会人向け』～深いかかわりから学ぼう～
日 時：2006年2月18日(土)～23日(木)
研修費：73,500円 (別途滞在費：60,000円程度)
担 当：楠本和彦／山口真人／中堀仁四郎／文珠紀久野
☆カタログを差し上げます。
問い合わせ：電話(052)832-5002 E-mail: ninkan-c@nanzan-u.ac.jp
ホームページ：<http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/>

◇ 南山短期大学コミュニティーカレッジ ◇
☆カタログを差し上げます。
問い合わせ：電話・FAX(052)834-2900

◆ Thanks! ◆

表紙絵は、人間関係科16期 櫛田康代さん、挿絵は、英語科29期 横口久子さん、人間関係科16期 斎藤由紀子さん、人間関係研究センター職員 野々口奈央さんにかいていただきました。また、編集・印刷は尾頭橋印刷所にお願いしました。

ニンカン・ネットのホームページリニューアルには、人間関係科16期 櫛田康代(天国屋オフィス)さんのご尽力をいただきました。

◆ 探しています ◆

山梨・甲府近郊にお住まいの方(静岡、東京方面も可)で、大学の授業のスタッフ(非常勤講師として)をしてくださる方を探しています。
場所：山梨県立大学看護学部(池田キャンパス)
期間：2006年5月中旬～6月末まで、毎週水曜日の朝の授業
担当の教授は以前人間にも非常勤でいらした文珠先生です。
詳細は、文珠先生(メールのみ可；monju@yamanashi-ken.ac.jp)か、11期 藤田嘉子(Tel&Fax052-761-7580, yoshi_fu@fb3.so-net.ne.jp)にお尋ねください。
興味のある方、是非、お問い合わせください。お待ちしています。

◆ 寄附のお願い ◆

「ニンカン・ネット」は皆さまの寄付で運営されています。
常時、寄付を受け付けています。

《振込先》
郵便振替口座：00880-1-167626 ニンカン・ネット
*お名前と期(学生番号)を必ずご記入下さい。

～ご寄付をいただいた方、ありがとうございました。～

◆ 記事・スタッフ募集します ◆

◇ 投稿 ◇
次号への投稿をお待ちしています。ご自由にお書きください。
担当：5期 林 幸子 FAX(052)722-4875
E-mail : staff@ninkan-net.jp

◇ スタッフ ◇
「企画」・「通信」・「奨学助成」スタッフを随時募集しています。
「ニンカン・ネット」定例会は、毎月第3土曜日(但し、8月・12月は休み)午前11:00～南山短大1階11番教室で開催しています。
いつでも見学大歓迎！
☆日時の変更などがありますので、事前にお問い合わせください。

◆ 編集後記 ◆

HPができた！HPIに関してほとんど無知なニンカン・ネット運営委員にとっては、「すごい！すごい！」の連発。16期の櫛田さんがいたくれたからこそこの偉業です。情報が、ほぼリアルタイムで更新していくHPの使い道は、ほんとにたくさんあります。

一方で、このニンカン・ネット通信は、投稿や講座報告、いろいろな方にお願いした原稿やイラスト等を集めてレイアウトを考え、一歩でもないこで練って、あたためて、出来あがったものです。みなさんにこのぬくもりを感じてもらえたうれしいです。

5期 小川けいこ

◆ ニンカン・ネット 問い合わせ ◆

ホームページアドレス：<http://www.ninkan-net.jp>
E-mail : staff@ninkan-net.jp
FAX(052)836-6543 (南翔会事務局)